

シラバス

授 業 科 目	眼・耳鼻咽喉・皮膚疾患と薬物治療(H18～)・疾患と薬物治療V(～H17)		
(英 文 名)	Pharmacotherapy for Ophthalmological, Otorhinolaryngological and Dermatological Diseases ・Pathophysiology and Drug Therapeutics V		
担 当 教 員	田村 豊、塩見浩人		
単 位 数 (期 別)	△2(前)(H18～) ・②(後)(～H17)	対 象 学 生	4P(H18～) ・3Ps、3Py(～H17)

■授業のねらい・概要■

将来、薬剤師として眼・耳鼻咽喉・皮膚疾患の適切な薬物治療に貢献できるようになるために、それぞれの疾患の病態生理を理解した上で、治療に用いられる代表的な医薬品の適正使用に関する知識を修得することを目標とする。【C14(4)】

■授業(学習)の到達目標■

眼科、耳鼻咽喉科、および皮膚科領域の疾患について、病態、検査・診断方法、および薬物治療を説明できる。

■回数ごとの授業内容■

- | | |
|---|--|
| 1 眼に関する代表的な疾患を挙げるこ
とができる。(田村) | 11 アトピー性皮膚炎の病態生理につい
て説明できる。(塩見) |
| 2 緑内障の病態生理、適切な治療薬、お
よびその使用上の注意について説明でき
る。(田村) | 12 アトピー性皮膚炎の適切な治療薬、お
よびその使用上の注意について説明でき
る。(塩見) |
| 3 白内障の病態生理、適切な治療薬、お
よびその使用上の注意について説明でき
る。(田村) | 13 皮膚真菌症の病態生理、適切な治療薬、
およびその使用上の注意について説明で
きる。(塩見) |
| 4 結膜炎と網膜症を説明できる。
(田村) | 14 蕁麻疹、薬疹、水疱症について説明でき
る。(塩見) |
| 5 耳鼻咽喉に関する代表的な疾患を挙げ
ることができる。(塩見) | 15 乾癬、接触性皮膚炎、光線過敏症を説明
できる。(塩見) |
| 6 めまいの病態生理、適切な治療薬、お
よびその使用上の注意について説明でき
る。(塩見) | |
| 7 メニエール病を概説できる。(塩見) | |
| 8 アレルギー性鼻炎、花粉症を概説でき
る。(塩見) | |
| 9 副鼻腔炎、中耳炎を概説できる。(塩見) | |
| 10 皮膚に関する代表的な疾患を挙げるこ
とができる。(塩見) | |

シラバス

■成績評価の方法・基準■

臨時試験並びに定期試験の成績によって評価する。

■使用テキスト■

なし

■参 考 書■

なし

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	月曜日～金曜日は午後 5 時から午後 8 時まで 土曜日は、午後 1 時から午後 5 時まで
----------------------------	---